



2025年度 市政懇談会 <鶴川地区町内会・自治会連合会>

次 第

[日時] 2025年10月28日(火) 18:30 ~ 20:00

[場所] 鶴川市民センター ホール

司会進行：市民部長 横山 法子
鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 大石 正幸

○ 連合会長の挨拶

鶴川地区町内会・自治会連合会 会長 仲村 清彦

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 鶴川駅周辺の整備状況について
【都市づくり部】 【道路部】
- 2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか
【道路部】
- 3 都市計画道路の整備促進の働きかけ
【道路部】
- 4 雜木林の枯れ病対策について
【都市づくり部】
- 5 ゴミ袋の無料化対策について
【環境資源部】
- 6 民生委員不足の対策について
【地域福祉部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○閉会の挨拶

閉会挨拶 鶴川地区町内会・自治会連合会 副会長 長倉 孝

2025年度 鶴川地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録

[日 時] 2025年10月28日（火）18:30～20:00

[場 所] 鶴川市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石阪 丈一

地域福祉部長 水越 祐介

環境資源部長 岩岡 哲男

道路部長 深澤 香織

都市づくり部都市整備担当部長 新 聰

市民部長 横山 法子

鶴川地区町内会・自治会連合会会長 ほか23名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

鶴川市民センター長

司会進行：市民部長

鶴川地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶（町田市長）

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 鶴川駅周辺の整備状況について

（1）鶴川駅改良事業および北口広場拡張計画の進捗状況についてお知らせください。

（2）鶴川駅南口広場整備事業（南口土地区画整理事業）および南口アクセス道路整備事業の進捗状況をお知らせください。

（3）西側主要生活道路整備事業の進捗状況も報告してください。

【回答】

都市整備担当部長

議題1の（1）の鶴川駅改良事業および北口広場拡張計画の進捗状況についてお答えいたします。--

鶴川駅改良事業につきましては、小田急電鉄が2023年度から工事を開始いたしました。

2024年度は、駅舎の基礎工事やホームの改修工事等を行いました。

2025年度は、駅舎の鉄骨等の躯体工事やホームドア設置に伴うホームの補強工事等を進めております。

2026年度以降につきましては、引き続き、駅舎の躯体工事、内外装等の仕上げ工事、ホームドア工事等、2027年度末（2028年3月）の使用開始を目指し、工事を進めてまいります。

北口交通広場の整備につきましては、2024年2月17日に仮使用を開始し、2024年度は、新しい交通広場の植栽整備工事、駅に向かう歩行者デッキの工事等を行いました。

2025年度は、歩行者デッキの屋根の工事を進めてまいります。

2026年度以降につきましては、エレベーター・エスカレーター等、2027年度末（2028年3月）の使用開始を目指し、工事を進めてまいります。

次に、（2）の鶴川駅南口広場整備事業（南口土地区画整理事業）および南口アクセス道路整備事業の進捗状況についてお答えいたします。

鶴川駅南土地区画整理事業につきましては、建物等の移転を2022年度から2029年度まで、順次進めてまいります。

雨水調整池につきましては、2024年度から2026年度まで、工事を進めてまいります。

地区東側につきましては、2026年度に宅地造成と道路工事を実施いたします。

川井田人道橋から南口交通広場へ至る幅員12mの道路につきましては、2026年度から2027年度まで、工事を進めてまいります。

南口交通広場につきましては、新しい駅舎が使用開始となる2027年度末（2028年3月）に歩行者の通行を可能とし、2029年4月に広場への車の乗り入れとバスの運行が開始できるよう進めてまいります。

南口アクセス道路整備事業につきましては、2024年度、岡上40号線の岡上駐在所前交差点から岡上小北交差点の区間において、安全施設の設置や舗装等の工事を進めました。

2025年度は、岡上小北交差点から西側約120mの区間において、安全施設の設置や舗装、擁壁等の工事を行うとともに、岡上55・56号線の

道路拡幅予定区間において、用地取得を進めております。

2026年度以降、引き続き用地取得を進めるとともに、岡上55・56号線の道路拡幅工事、川井田人道橋の架け替え工事に着手し、2029年1月の全面開通を予定しております。

最後に、（3）西側主要生活道路整備事業の進捗状況についてお答えいたします。

西側主要生活道路整備事業についてですが、2024年度は、沿道地権者の皆様に立会いいただき、土地の境界測量を行うとともに、道路に関する設計を実施いたしました。

2025年度は、用地取得に必要な物件調査を順次進めてまいります。

2026年度以降につきましては、2028年度の工事着手を目指し、用地取得を順次進めてまいります。

今後も、地域の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、事業を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

《質疑》

鶴川団地自治会

今の説明の中で1つ聞きたかったのは、今階段ができているのですけれども、あの階段を見て、団地の方はエスカレーターやエレベーターがどこにできるかというので非常に質問があるのです。具体的にどこにできるか教えていただきたいのと、今の階段のところについていただかないと、バスから降りる人が全部あそこに集中しているのです。そして、ぐるっと回って駅のほうに行っているものですから、バスは歩行者が多くて右折、左折ができない。歩行者が通って、バスを降りる人はみんなあそこへ行くのです。その辺でもう少し具体的に説明をお願いします。

道路部長【鶴川駅周辺の整備状況について資料参照】

緑色（南北自由通路整備事業）で示している箇所がデッキです。今交通広場から駅に向かうデッキ、マルエツ前とバス停前に階段ができている状況です。エレベーターは北口ですとマルエツ側は階段の先と、小田急マルシェの交番寄りで、図面でちょっと飛び出している箇所に設置されます。エスカレーターは、北口と南口にそれぞれ設置します。北口ですと小田急マルシェから駅に上がるところに設置されます。現在工事中で歩道橋として使えず、降車場から駅に向かう多くの人が横断歩道を利用するため、鶴川街道からのバスも曲がれないという渋滞の原因になっているのは重々承知しております。説明会でも遠回りになることや工事期間が長いという点で多くの意見をいただ

いておりますが、上屋やエレベーターの整備が終わるまで、まだお時間がかかりますが、順番にやっているところでございますので、しばらくご理解、ご協力お願いしたいというところです。

鶴川団地自治会

さきに私の仲間が質問したのと、ちょうど今スーパーがありますよね。スーパーに入って、それから階段を上って、こっち側へ渡って、それで駅へ行くようになっているのですけれども、あのスーパーの前の道路、階段は狭くて大丈夫なのでしょうか。あそこで乗り降りするし、それから、お年寄りはあの階段はかなり急で長いし、エスカレーターにすることはできないでしょうか。

道路部長

スーパーの前で整備中の部分については、エスカレーターではなく階段になっております。エスカレーターは小田急マルシェの前から駅に上がるところだけになっております。エスカレーターのご要望もありましたが、スペース的に設置が難しかったため階段となっております。

鶴川団地自治会

それは、一応そのままということで。

道路部長

このまま階段です。先ほど説明した通り、階段の先にエレベーターはございます。

鶴川団地自治会

ただ、あそこの階段を上ること自体が、かなり急で長いのです。そうするとお年寄りなんかは、それからエレベーターでいいと言いますけれども、エレベーターの範囲もすごく狭いので、それで果たしてうまくいくのかなという疑問は持っています。

道路部長

なかなか狭い限られた区域での整備になります。バリアフリー動線としてはエレベーターを整備して確保できておりますので、よろしくお願ひいたします。

2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか

(1) 芝溝街道の鶴川東交差点から上麻生交差点にいたる交通渋滞対策。

(2) 金井入り口交差点の渋滞解消対策。

(3) 鎌倉街道の整備促進と渋滞解消対策。野津田町丸山から今井谷戸までの計画と整備事業の見通しについて。

【回答】

道路部長

議題2の「鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか。」の「(1) 鶴川東交差点から上麻生交差点にいたる交通渋滞対策。」についてお答えいたします。

【投影資料1】

東京都が施行主体となっている、鶴川駅東口交差点から川崎市境までの約810m区間については、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、優先的に整備すべき路線と位置づけられておりますが、現時点では、整備時期は未定と伺っております。

また、川崎市が施行主体となっている、川崎市境からマルエツ柿生店前までの約430m区間の上麻生Ⅱ期工区については、用地取得を進めており、2025年4月1日時点の用地取得率は、31%と伺っております。

なお、町田市からも要請を行っておりました上麻生交差点における慢性的な渋滞については、川崎市が、2024年10月に、世田谷方面車線の幅員を約1m広げ、右折待ち車両がいても直進方向へ通行しやすくなる暫定対策を実施いたしました。

これにより、平均通過時間が15分から4分程度短縮するなど、交通環境が改善されたと伺っております。

次に、「(2) 金井入口交差点の渋滞解消対策。」についてでございますが【投影資料2】金井入口交差点の渋滞は、鶴川駅方面の公共バスや一般車の交通集中によって発生しており、当該交差点改良などによる抜本的な渋滞緩和対策は難しい状況です。

現在、町田市では、議題1にありました北口交通広場の拡張整備による北口交通広場の交通容量の増加と、南口交通広場の整備による南北の交通分散によって、駅周辺の交通渋滞が緩和し、これと連動して金井入口交差点の渋滞緩和につながると考えております。

次に、「(3) 鎌倉街道の整備促進と交通渋滞解消対策。」についてでございますが【投影資料3】施行主体である東京都に確認したところ、今井谷

戸交差点から薬師中学校北側の薬師池交差点までの約740m区間を薬師池Ⅰ期事業区間として、現在用地取得を進めており、2025年4月1日時点の用地取得率は、47%と伺っております。

その先の、薬師池交差点から新袋橋交差点手前のガソリンスタンド付近までの約1040m区間を薬師池Ⅱ期事業区間として、現在用地取得を進めしており、2025年4月1日時点の用地取得率は、30%と伺っております。

《質疑》

(司会) 地区連合会副会長

私から1ついいですか。金井入口交差点のところですけれども、あそこが広くなるというのはどのぐらい先を見越しているのか。もし近いうちにできないとなれば、信号の時間を見直してみるのもいいのではないかと思いますけれども、その辺はいかかでしょうか。

道路部長

金井入口交差点の渋滞については深刻だということで、いつもご意見いただいているところですけれども、交差点の拡幅についてのめどはまだ立っておりません。また、概成でできているということもございますので、なかなか優先的に整備に着手するというところは難しいかと考えております。さらに、信号の時間調整についても、これまでいろいろ試行錯誤して、今が一番ベストだという認識であります。いろいろ試してみてはいるみたいなのですが、なかなか難しいということで、先ほどの回答になってしまふのですけれども、駅前の整備が進むことによって流れがよくなるのではないかと考えております。引き続き交通管理者である警察との協議、道路管理者である東京都にも働きかけていきたいと思っております。

先ほどの私の説明で市長から指摘が入りました。上麻生交差点の平均通過時間が4分短縮したのではなく、15分かかっていたところが4分になったということで、大幅にスムーズになったということをきちんと伝えられてていなかつたので申し訳ございません。15分が4分に短縮しましたということで修正させていただきます。

3 都市計画道路の整備促進の働きかけ

(1) 真光寺から黒川に抜ける鶴川街道の整備促進の働きかけをお願いします。

(2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ。

（3）鶴川四丁目交差点から大蔵井の花交差点（旧鶴川街道）の整備促進と渋滞解消対策。

【回答】

道路部長

議題3の「都市計画道路の整備促進の働きかけ」の「（1）真光寺から黒川に抜ける鶴川街道の整備促進の働きかけをお願いします。」についてお答えいたします。

【投影資料4】

東京都では、町田都市計画道路3・4・23号のうち、真光寺十字路交差点の北側から川崎市境手前までの940mの区間において事業を進めており、この区間の用地取得率は93%で、未整備となっている市道鶴川556号線から北側の区間について、引き続き、用地取得を進めていると伺っております。

事業中区間から先の、川崎市境までの約30mの区間については、第四次事業化計画において、東京都が2025年度までに、優先的に整備すべき路線と位置づけられておりますが、接続する川崎市側の様子見の状況であり、現時点で整備時期については未定と伺っております。

一方で、川崎市は、市境からセレサモス麻生店前の交差点までの約470m区間を、「第2次川崎市道路整備プログラム（後期の取組）」において、2026年度から2029年度に着手する路線と位置づけておりますが、現時点で着手時期は未定と伺っております。

次に、「（2）広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ。」についてでございますが【投影資料5】町田都市計画道路3・4・30号と接続する川崎都市計画道路3・4・23号については、川崎市に確認したところ、第2次川崎市道路整備プログラムにおいて整備推進路線として位置づけられておらず、整備時期は未定と伺っております。

川崎市に対しましては、引き続き、川崎・町田道路連絡調整会議などを通じて、都市計画道路の整備推進について、要請してまいります。

次に、「（3）鶴川四丁目交差点から大蔵井の花交差点（旧鶴川街道）の整備促進と渋滞解消対策。」についてでございますが【投影資料6】鶴川四丁目交差点及び井の花交差点は、2025年3月に東京都が策定した『第4次交差点すいすいプラン』において、早期の整備効果発現を目指して、東京都が整備する箇所として、位置づけられております。東京都へ確認したところ、町田市内で現在施行中の事業の進捗を踏まえながら、順次進めていくと伺っております。

なお、議題2の（1）、（2）、（3）及び議題3の（1）、（3）でお話のあった都道については、今年の5月に市長及び副市長から東京都南多摩東部建設事務所長に対し、各事業の早期着手や整備促進を要請するとともに、進捗状況について情報共有を図っております。

4 雜木林の檜枯れ病対策について

前年度から雜木林の檜枯れ病対策について質問していますが、24年度はどこの地区で何本伐採したか、今後の対策はどうか報告してください。

【回答】

都市整備担当部長

ナラ枯れについてですが、「ナラ菌」によって、コナラやクヌギ、シラカシ等の、ブナ科のナラ類が枯れる樹木の伝染病でございます。

この「ナラ菌」は、「カシノナガキクイムシ」という体長5mm程度の小さな昆虫が樹木を食べて潜り込み、持ち込む細菌でございます。

2024年度の公園・緑地のナラ枯れ対策につきましては、鶴川地区で98本、堺地区が146本、忠生地区が76本、町田地区が49本、南地区は4本で、合計373本の伐採を行いました。決算額でいうと2024年度は約3730万円をかけてナラ枯れ対策を行っております。

引き続き、散策路や近隣住宅などに被害が及ぶおそれがあるナラ枯れ樹木を優先的に伐採してまいります。

《質疑》

鶴川二丁目町会

ナラ枯れの伐採は分かるのですけれども、その後、植えるのか、なくなつたままというのはどうかと思っているのですが、その回答をお願いします。

都市整備担当部長

正直に申しまして、最近の公園とか緑地につきましては、木がかなり成長して大きくなっていますが、枯れていなくても間を抜いて伐採したりというところがございます。今のところ、ナラ枯れした樹木のところに新しく植えるということはまだしておりません。場所によって、例えばナラ枯れで木が全くなくなってしまうようなところにつきましては、苗木を植えたりということも考えられますけれども、今の状況でいきますと、代わりのものを次々植えるという状況ではないのかなと思っております。

鶴川二丁目町会

私は鶴川冒険遊びの会の会長なのですけれども、中央公園の木も2本切っ

たのですけれども、その後何も植えない状態で、公園の樹木がどんどん枯れているというのは分かりますが、植えないと居場所的に木陰がなくなってきて、利用者的にも暑くてよくないなど、樹木が少なくなっていくと温暖化にもつながっていくので、できれば植えてほしいなと思っています。

都市整備担当部長

現実の場所を見ながら、また、ご相談に応じていきたいと思います。

(司会) 地区連合会副会長

私から 1 つだけ、ナラ枯れ病で伐採されているもの以外の伐採というのもあると思うのですけれども、それはどういう状況で伐採しているのかとか、どのぐらい今伐採したのかとか、ちょっと教えていただけますか。

都市整備担当部長

数量的なものは、今手元にないので何本というのはお答えしづらいのですが、一般的にナラ枯れではなくても、樹木が混み過ぎているようなところについては伐採するケースもありますし、ナラ枯れではなくても枯れる木というのはどうしても出てくるのです。木が大きくなつて競争に負けると間の木は枯れていったりしますし、そういうものがどこかに影響を与えるとか、公園利用者の方の頭上に枯れ木が残っているというのは、安全性を確保するために切っているというところです。

(司会) 地区連合会副会長

もう一つ、ナラ枯れ病はナラの木だけですか。

都市整備担当部長

基本的には、名前のとおりで種類はナラ類になります。1種類だけではないのですけれども、先ほどお話ししたとおり、コナラとかクヌギとかシラカシも含まれます。

地区連合会長

参考までに、伐採した後、植えなければいけないというのは、元来、町田市は 1955 年頃まで全部薪炭用として雑木林を栽培してきました。昭和 30 年頃、1955 年頃から燃料革命が進みまして炭を使わなくなった。それで需要がなくなったので、町田市内の雑木林の伐採をしなくなった。元来は、この辺だと平均 8 年に 1 回は伐採して、長くとも 10 年に 1 回は伐採して、炭に焼いて、それを都心に売りに行って、私どもの農家の副収入にしていたのです。それをやらなくなつて、今 60 年、70 年たつて、ナラ、クヌギが

高さ 15m、20m になって、寿命が来て虫がついているということなので、今は虫がついたものだけ伐採するということにエネルギーを注いでいますけれども、将来的には雑木林に関しては、10年か20年に1回伐採すれば、切ったところからひこばえという新しい芽が出てきて、それが育つような性質を持っております。だから、伐採だけきちんとやっておけば新しく植える必要はない。雑木林はそれで維持できる。

ただ、その循環の作業をここ60年間さぼってしまったので、現状のようになっているというのが事実ですので、だから町田市としても、将来的には20年に1回は全て公園の雑木林は伐採するぐらいの計画を立てていただけたら心配はないと思います。

以上、参考です。

都市整備担当部長

今お話があったとおり切って、また芽を出してというのを繰り返していくかないと、本来は明るい樹林地というのは維持できないのです。生き物自体も、木が大きくなってしまって日が差さなくなると種類が減ってしまいますので、本来は明るい雑木林が一番生き物の種類が多い、花の種類も多いということになりますので、心情的には、市内の公園全ての雑木林を萌芽更新したいのです。なかなかそこまで至っていないのですけれども、課題としては捉えております。

鶴川四丁目富士見会

ナラ枯れではないですが、イチョウです。鶴川街道というか、町田消防署鶴川出張所のイチョウ並木は結構大規模に伐採していまして、それに引き換えて國士館大学の前の通りは従来どおり生えているのですが、國士館前の通りのイチョウが去年は多分剪定していないと思うのです。今年になって、今出たひこばえが物すごい勢いで生えていまして、今年度、来年度はどのようにしていただけるのかなと考えています。

道路部長

街路樹のお話ということで道路部から回答させていただきます。

お話のあった消防署前で大規模伐採しているイチョウ並木は更新計画に基づき伐採エリアになっているところだと思います。市内の街路樹はイチョウも含めて大きくなり過ぎて倒れていたりするということもございまして、2023年3月に策定した街路樹更新計画で、この街路樹は全部切ってしまうとか、ここは間引いていきましょうとか、ここは順次植え替えていきましょうというところで、きれいに残すべき街路樹と皆様が歩きやすいように更新していく街路樹を、4区分に分けて更新整備を進めているのです。

ご指摘の国士館の前は何の路線になっているか、即答できませんが、イチヨウに関してはなかなか維持管理の難しい木で、大きくなり過ぎると危ないというデータもございますので、順次更新を進めていくエリアにはなっていると思います。

定期的な剪定については、確認してご連絡させていただきます。

鶴川四丁目富士見会

今が2025年だから、2023年度までは毎年剪定していたのです。それが突然昨年はやらなくなって、今はもうすばらしい状態になっています。よろしくお願ひします。

5 ゴミ袋の無料化対策について

ゴミ袋の有料化によってごみ減量が進んでいるのは大変良いことだと思います。昨今の物価高対策としてゴミ袋に広告を載せるとか、東京都から助成金をもらうとかの対策をとってゴミ袋の無料化対策ができないでしょうか。

【回答】

環境資源部長

町田市では、ごみの減量・資源化の推進、公平な負担を目的として、2005年10月から指定収集袋制度によるごみの有料化を開始しました。有料化以降、新型コロナウィルス感染症が流行した2019年～2020年を除いて、ごみの排出量は減少しています。

ただし、市民1人当たりのごみ量は、多摩26市の中でも5番目に多く、また、町田市の清掃工場である、町田市バイオエネルギーセンターで処理し切れないごみを、多摩ニュータウン環境組合の清掃工場へ、処理を依頼している現状です。

そのため、今後もごみの減量と資源化を進める必要があると考えており、現状では、無料化する予定はございません。

また、ご提案のあったごみ袋への有料広告の掲載については、既に導入しており、2024年度は、80万800円の広告収入がございました。

あわせて、東京都からの助成金については、確認いたしましたが、現状では補助制度はございませんでした。

ご提案の趣旨からは少し外れるかもしれません、来年2026年4月から、容器包装プラスチックの分別収集を市全域で開始します。容器包装プラスチック用のごみ袋の価格は、「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」の半額としていますので、きちんと分別していただくことで、ご家庭の負担は減るものと見込んでおります。

制度の趣旨をご理解いただき、今後もごみの減量と資源化にご協力をお願

いいたします。

鶴川2丁目自治会

4月から容器包装のごみを分別するということになっているので、燃えるごみの量はかなり減ると思うのです。これまで使っていたごみ袋の半分の大さきで済むと思うのです。それで、容器包装のほうも半額になるということで、容器包装のほうがかなり多くなるのではないかと思うのですけれども、燃えるごみの黄色い袋はこれまでの半分の量で済むようになって、自然的に減量になると思うのです。それを期待しています。

環境資源部長

そのとおりで、容器包装プラスチックはピンク色の袋で、燃えるごみ、燃えないごみの半額になるので、ご家庭の負担は減るので期待していただければと思います。

(司会) 地区連合会副会長

今23区の中でも無料のところが何区かあるはずなので、そういうところはこの資金というのはどうしているのでしょうか。

町田市長

ごみ袋の有料化をしたのが2005年10月、ちょうど20年前です。それは、多摩は26市あるのですが、多分十二、三番目です。ほかのところはもっと先行しています。お話をありましたとおり、有料化になってごみの量も減りました。これは明らかに、たくさん出すとお金がかかるよというマイナスのインセンティブが働いて減りました。

ただし、東京23区の場合は、そういうては何なんですが、比較的お金があるのですね。町田市みたいに貧乏ではないので、そういうインセンティブが行政のほうに働いていないのです。今、製造費は億単位ですよね。発注先に億単位のお金がかかっているんです。80万円の広告収入はあるのですけれども、広告収入では8億円のうちの1000分の1ぐらいしかないのでしょうけれども、それでもないよりはありがたいですね。

東京の場合はほとんど無料、つまり20何年前にすれば23区も三多摩も無料だったのです。三多摩のほうがごみの減量をしようということで次々に有料化して、町田市がちょうど20年前に有料化したということで、恐らく方向的には、23区もこれから有料化になるのではないかという流れになっています。

(司会) 地区連合会副会長

ありがとうございます。じゃ、23区も今無料のところも有料化になる？
今、ごみ袋の外袋に広告も入っているということなので、それを10枚全部に入れたらもっと収入もあるということですね。

環境資源部長

広告収入につきましては、先ほど申しました80万800円ですけれども、最大でも年間約115万円入る形になります。

(司会) 地区連合会副会長

だから、1枚1枚全部に広告をつけたら、もっともっと収入があるのではないか。ゼルビアにいっぱい会社があるので、そういうところに全部、サイバーエージェントでも、ギオンでもどんどんつけてもらったら、そのくらいはすぐなるのではないか。

環境資源部長

今1枚1枚というお話がありましたが、実はバイオエネルギーセンターで火災が発生した関係で、そういった背景から今ごみ袋は危険物の注意喚起をするためのデザインにしておりますので、広告は外袋にしか入れられない事情がございます。

(司会) 地区連合会副会長

来年度からプラごみを分別してくれということなので、それを市民みんなに教育するわけです。ですから、その辺のところも無料にしてもらっていいのではないかと、しつこいようですみません。そうしてくれると、この物価高で少しでも足しになるのかなと思っています。これからいろいろと考えが市のほうでも出てくるかと思いますので、その辺のところにも入れていただきたいなと思っておりましたので、よろしくお願ひいたします。

6 民生委員不足の対策について

昨今民生委員の希望者が少なくなっています。高齢化のための人材不足など深刻な問題になっています。民生委員に市職員を当てるとか、何らかの対策をお願いします。

【回答】

地域福祉部長

地域における民生委員や町内会の役員等の成り手の確保は、市として大きな課題と捉えております。

民生委員には「高齢者の見守り訪問や、地域にお住まいの方の困り事の相

談など、大変な仕事を担っている」という漠然としたイメージがあり、民生委員になることへの心理的なハードルが上がっているという点も、成り手不足の一因であると考えます。

町田市でも業務負担についての分析を行った結果、高齢化により、高齢者見守り訪問の世帯が増加し、また他市と比べても業務が多岐にわたるなど、実際に負担が大きくなっていたことが分かりました。

まずはその解消のため、これまで町田市民生委員児童委員協議会と、民生委員の担う業務を整理し、負担を軽減する話し合いを進めてまいりました。

あわせて、より活動しやすい体制に移行するため、これまで1担当区域を1名で担当していたところを、小学校区を単位として4～5名の委員で担当する班体制とし、委員同士のフォローをしやすくするための見直しも行いました。本年12月に行われる3年に1度の民生委員一斉改選を機に、先ほど申し上げました班体制を導入し、新たにスタートする予定です。

こうした取組について、「民生委員は大変な仕事である」という漠然としたイメージを払拭できるようPRしてまいります。今後も民生委員の成り手を確保し、町内会・自治会をはじめとした様々な地域の皆様と共に、地域福祉の向上を図っていきたいと考えています。

《質疑》

鶴川2丁目町会

この話は1年前から聞いています、実質担当の人が減る対策なのです。要するに、前は鶴川第二地区で29名という配置だったのが、今回は担当を減らしつつ、班体制にして小学校区が対象という形になっていますが、それは結局、単純に1人の担当地域をグレーにして、サポートするエリアをないところをないようにするという考え方なのです。だから、民生委員が増えるということではなくて、民生委員の成り手がいないことの解消には全然ならない対策なので、単純に減っているのをどうしようという対策であって、逆にどんどん減っていく時勢です。

もう一つ、今年齢のことを話されていたけれども、75歳定年という設定なのですが、もちろん本人がやるやらないということになるのですけれども、今のご時世ですと75歳は結構元気な方が多くて、民生委員の活動的に重いものを持つというわけではないので、その辺はもうちょっと、一応75歳も何らかの理由をつけて再任用するというのはありますが、慣れ親しんだ民生委員を長く続けていてまだ元気な方も定年だから辞めていくという姿を見ていると、まだまだやれるのではないかという方が去っていくのが、ちょっともったいないなといつも感じております。その辺を変えることで、高齢になつてもできるということをアピールしたほうがいいかなと思います。

地域福祉部長

まず、今ご紹介いただきました見直しにつきましては、これをもって民生委員さんを確保していくという直接的なことでないのはご指摘のとおりでございますが、こうした取組によりまして、民生委員さんが非常に大変だというイメージをなるべく払拭していくことで、じゃ、やってみようかという人をぜひ増やしていきたい、こうしたことでございます。

また、定年の話が出ましたけれども、確かに昨今、75歳とはいえ十分に活動できる方が非常に多くございまして、今度12月の改選の際から、再任につきましては77歳まで少し定年を引き上げようと考えておりますので、若干ではありますけれども、もう少しご活躍いただく期間を延ばしたいなと考えております。こうしたところはまた様子を見ながら、適宜見直しを図っていきたいと考えております。

(司会) 地区連合会副会長

私からも1つ提案ですが、こういった要望の提案がだんだんいいほうになるように進めていただきたいなと思っております。本当に実際に現場で動く人たちは非常に大変なのです。その欠員を探すのも非常に大変なのです。ですから、その辺のところも考慮いただいて、こういった提案があったときにどんどん新しくいい方向に進むようにお願いしたいと思っております。

地域福祉部長

ありがとうございます。こうした思いは我々もまさに一緒にございまして、今回いただいたようなご意見も含めましてしっかりと見直ししながら、よりよい方向に努めてまいりたいと考えております。

鶴川四丁目富士見会

今のお話ですと、民生委員の人数の問題で1担当区域を1名のところ、小学校区を四、五名ということですが、これは今、市川さんがおっしゃられたように、グレーゾーンを設けて担当地域を曖昧にすることによってということもあるようですが、これをやると偏りができてしまうのではないかという不安が1つ。

こういった人数的なものをどうこうするということもあれでしようが、民生委員の仕事の内容 자체を、民間人にやってもらう部分をもうちょっと行政でやる部分を増やすというような考えはないのでしょうか。そういったことを考えていただければ、民生委員の仕事内容が楽になって、応募者も増えるかなと考えております。

地域福祉部長

ありがとうございます。民生委員につきましては、その成り立ちからして、行政がこれを引き受けるという種類のものではないという認識はしています。ただし、先ほど申しましたとおり、仕事の中身を整理して、実際に行政からいろいろお願いしていたものにつきましても、本当にそれが必要なのかどうかを今回改めて精査したところで、大分業務量が減ってくる。それにつきましては、今後も隨時必要に応じて、本当にそれが必要なのかどうかしっかりと検討しながらお願いをしていきたい、そのように考えているところでございます。

市長から指摘をいただきまして、実は全市域に完成したのですが、まだ福祉〇ごとサポートセンターという福祉に関する相談を何でも受け付けますというセンターをつくっておりまして、そこに専門の相談員を配置しまして、解決困難な問題を含めて様々対応しているところです。これまで直接そういう話を民生委員さんが抱え込んでしまって、なかなか支援先につなぐのも大変だと、こうしたところも〇ごとサポートセンターにおつなぎいただくことで、しっかりとそちらを引き継いでいくという体制もできておりますので、そうしたことにつきましては私も直接協議会の皆様の前で、こうしたことを行ひ進めていただきたいということでお願いをしているところですし、それにつきましては民生委員さんからも好意的な発言をいただいているところでございますので、ご紹介させていただきます。

(司会) 地区連合会副会長

紹介でいいますと、相談につきましては、毎週金曜日、この下でいろんな相談を受け付けております。地域の相談事やどのようなことでも構いません。前は焼き芋の作り方という相談もありまして、それもきっちりと対応していただいたこともありますので、そのようなことでも構いませんので、毎週金曜日にやっております。相談がある方はどんどん遠慮なく来ていただきたいと思っております。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、十二、三分しかないので全部はできないですが、報告をさせていただきます。

東京都立町田児童相談所、東京都のほうでは東京都町田児童相談所と言っているのを、私はあえて東京都立町田児童相談所と言っておりまして、町田市立ではないのです。東京都立の町田児童相談所です。山崎保育園の隣にできました。今年の6月に都立八王子児童相談所が都立八王子と都立町田に分かれたということでありますて、子ども家庭支援課と一緒にのところで子ども

の成育といった事柄、あるいは保護者に対するアドバイスみたいなことをやっております。教育センターの機能も、教育指導とか、不登校とかいろいろありますから、一緒に引っ越しをいたしました。

成瀬子どもクラブ（児童館）を造ろうとやっております。児童館につきましては、成瀬の次は金井で、昔の藤の台団地のコミプラの跡へダイハツができました。そのつじ向かいの金井遊歩公園の続きに今設計中です。多分、再来年度になって工事に入ると思いますが、町田市の計画の中では最後の児童館がダイハツのつじ向かいにできます。

それから、新たな学校づくり推進事業ですが、鶴四については、これから解体いたします。鶴川中央小学校という名前に変わって造るのですが、今設計をしております。設計者は隈研吾という名前の人人がやっております。東のほう、鶴二小は少し先の解体になるのですが、改築の設計を始めました。結局、鶴二と鶴四の間の鶴三が二股に分かれ、3校が2校になりまして、仮校舎として現鶴三校舎を利用し、やや複雑な統合になります。

それから、小・中学校児童生徒の給食費は今年の1月から無償化、ただになりました。鶴川地区は金井スポーツ広場のテニスやゲートボールをしていました場所に給食センターを造りました。

特別養護老人ホームですが、市内の特養に申込みの後、入れるまでどれくらいという期間がありますが、大体今は1年未満、15年前だと半分いかなかつたですが、今は90何%は1年以内に入っているということです。

香山園はご案内のとおりでございます。この間、駅から団地行きのバスに乗っていたら、この間行ってきたよ、結構高かったよと、夕食で8000円とか1万円とかするんだね。結構かかっちゃったとか、そんなことをバスの中で大きな声で言っている人がいましたが、結構人気のお店になっているようです。お昼は2000円で、申し込んでも満杯ですぐ食べられないと言っていました。

少し飛びますが、町田木曽山崎パラアリーナという事業を今進めておりまして、2028年度に完成見込みです。パラと言う限りですが、パラスポーツの練習のためのチームには優先的に予約をするというので、パラアリーナ体育館という名称になっています。空いていれば健常者も使えると。日本では恐らく2番目になると思います。1番目は品川ですかね。お台場の船の科学館というのですか、その敷地内に日本財團のパラアリーナがあります。ですから、うちは2番目になると思います。走っているデイサービスの車の横に書いてある、あれが日本財團ですね。

国際工芸美術館だとか、公園のエレベーターだとかの完成見込みです。いろいろなところの工事が入札不調になっておりまして、結構これでも遅れている事業です。エレベーターは受ける会社がない。小山田中学校は受けてくれたのかな、鶴川の中学校もなかなかできなくて、中学校給食を始めたけれ

ども、上の階に人手で運んでいるという状況です。エレベーターのほうは、早い話が役所の建築のエレベーターは人気がないのです。東京都内は高層マンションがいっぱい出てきますから、黙っていても注文が来るので、役所の学校のエレベーターなんてやれるかいみたいな雰囲気がありまして、なかなか手を挙げていただけないのが実情で、ほかの建築系もみんな駄目で、ほかの市になりますが、小金井のほうは2回ぐらい駄目になっているのです。小山ヶ丘って皆さん知っているかと思います。京王線のあそこの交番はおととしからやっているのですけれども、もう4回不調になってしまって、いつになつたら札を入れてもらえるのか分からぬ。計画を発表したときには、小山ヶ丘に交番がなくて、10何年来の要望だったのでみんな喜んでいたのですが、不調になってしまいまして、全然工事業者の手が挙がらないという状況です。

鶴川駅の話は先ほどやりました。

先ほど言いました容器包装プラスチックの分別、資源化、実は三多摩26市の中でごみの資源化率が下から2番目、26市分の25位です。ブービーを取っている理由はプラスチックを燃やしているからです。プラスチックを普通のごみと一緒に燃やしているので、資源化率は26市分の25位なので、何とか早くブービーを脱出したいと思っております。

もう一つ、問題は、プラスチックは原単位当たり、重さ当たりのCO₂の発生量が非常に大きいです。石油資源をきゅっと固めているものをもう1回燃やすと、気体になったときにCO₂が物すごい量が出るので、プラスチックを燃やすということは地球温暖化に貢献してしまっているのですね。ですから、資源化することと地球温暖化を少しでも防止しようということで、非常に急がれていた施策なのです。

実は、プラスチックの圧縮工場、あるいは瓶と缶の処理工場は市内にはもうないので。ですから、来年の4月からは川崎のほうにトラックで輸送するということで、市外に遠くに持っていくというのは、今トラックも人手不足で物すごく輸送費が上がっているのですが、背に腹は代えられないので高いお金を払って契約しました。ですから、持っていくだけで何億かの運搬費がかかりますが、相原の資源化施設もあと四、五年でできればいいかな、2030年を過ぎてしまうと思っております。それでもまだ全体量の2分の1しか相原では処理できないので、もう1か所計画しているのですが、もう1か所のほうはもっと先になりそうということで、市外に運搬する委託料で首が回らなくなるみたいなところがございますが、4月から分別はやりますということです。

そんなところが今私どもが抱えている問題といえば問題です。

《質疑》

鶴川四丁目富士見会

容器包装プラスチックですが、説明を聞きますと、とにかく面倒くさいですね。容器包装に係るプラスチックだけだというのが原則であるようなんですが、今、市長のお話だとたくさん運搬費がかかるので、それを少しでも削るために、プラスチックなら何でもいいよというのではなくなってしまったのかなという勘ぐりがあるのです。例えば、卵の包装に使っているプラスチックから、あるいはシャンプーに使っている硬いプラスチックまで、容器ならばいいのだけれども、買ってきていたビニール袋は駄目だというような説明なのです。この面倒くささはどこから出ているのでしょうか。

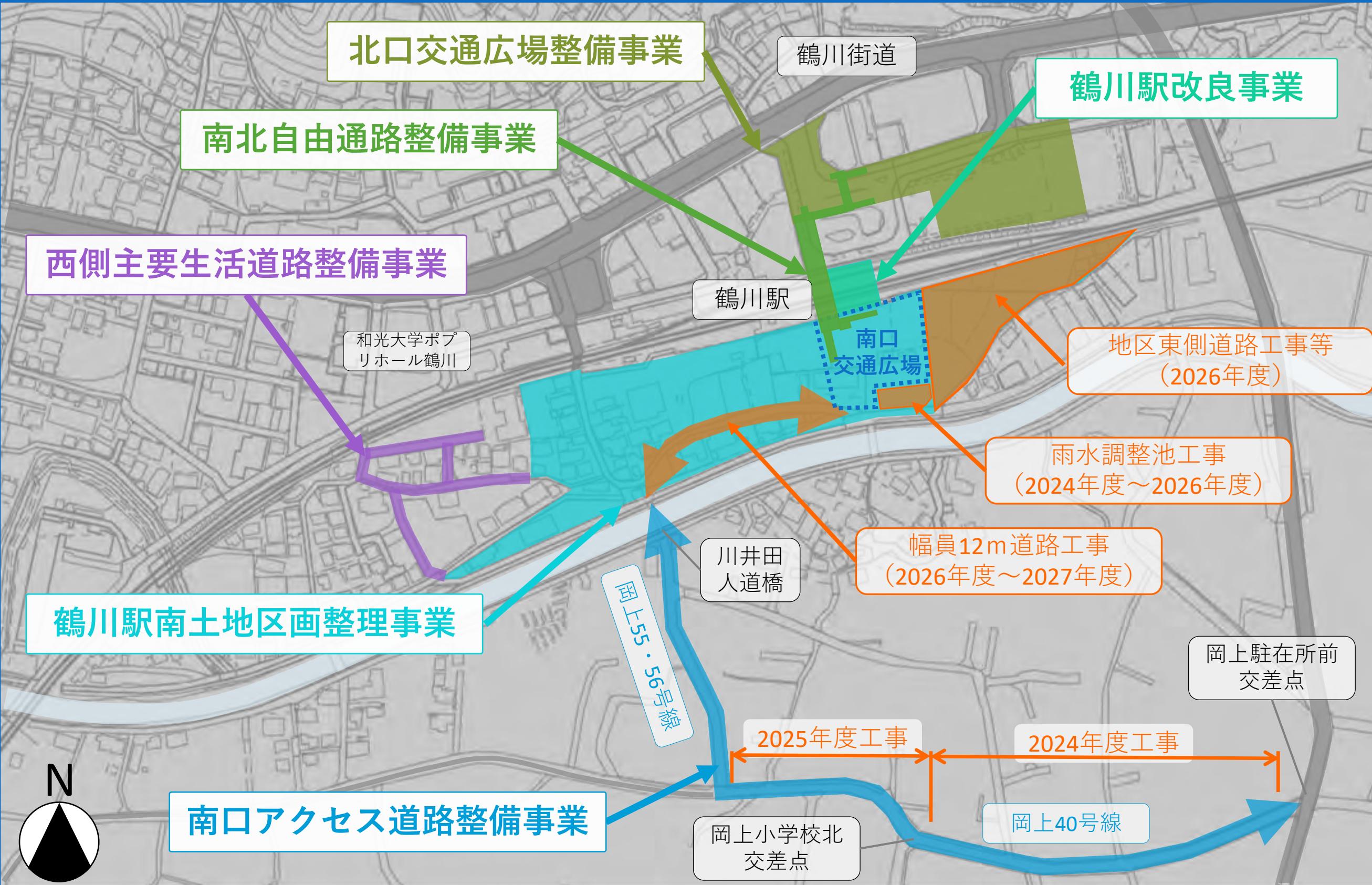
町田市長

難しいことを言いますと、容器包装プラスチックについては、製造者責任という部分があります。つまり、物を作った人に処理費用、あるいは資源化費用を負担してもらおうという思想です。それをコントロールしている日本容器包装リサイクル協会が、これはオーケー、これは駄目と決めておりまして、その基準に従って、私どもは四角い1m角のプラスチックの塊にして出す、そういうルールになっているのです。ですから、今の決め方は全国統一で、そのルールに従ってやっております。ただし難しいといけないので、来年9月までの例のカレンダーが皆さんのもとに行っていると思うのです。裏に全部しっかり説明書きがあります。ですから、それを見ていただければそんなに難しくはないです。

もう一つ、プラスチック製品。容器とか包装ではなくて、例えばプラスチックのバケツは容器として使うための製品ですから、包装したものではないし、何か入っているわけではない。バケツの中にプリンが入っているわけではないので、バケツだけ売っているわけで、これは製品プラスチックという名前がついています。子どもの使う食器みたいなものも全部製品プラスチックです。これについては、2029年度、3年後にやはり回収します。市役所として回収します。またまた回収費がかかるのですが、それはもう多摩ニュータウンの工場の再整備、一緒にやっていますから、そこの考え方というより環境省の考え方で、2029年度以降はプラスチックも資源化しましょうという基準が打ち出されておりますので、3年後にまた皆さんにお願いするのは、プラスチック製品も分別で出してください。紫外線が当たると10年ぐらいで大体壊れてしまいます。ですから、捨てようとすると黄色い袋には入れられなくなって、またまたプラスチック製品分別というのが始まりますので、二段階でご迷惑をかけますが、ご協力いただきたいということでございます。

○閉会の挨拶（鶴川地区町内会・自治会連合会副会長）

位置図



議題2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか

(1) 芝溝街道の鶴川東交差点から上麻生交差点にいたる交通渋滞対策。 投影資料1



東京都
町田市

神奈川県
川崎市

●マルエツ柿生店

上麻生交差点



暫定対策後の上麻生交差点

鶴川駅東口交差点

藤の木交差点

芝溝街道

東京都施行
優先整備路線
(未着手)

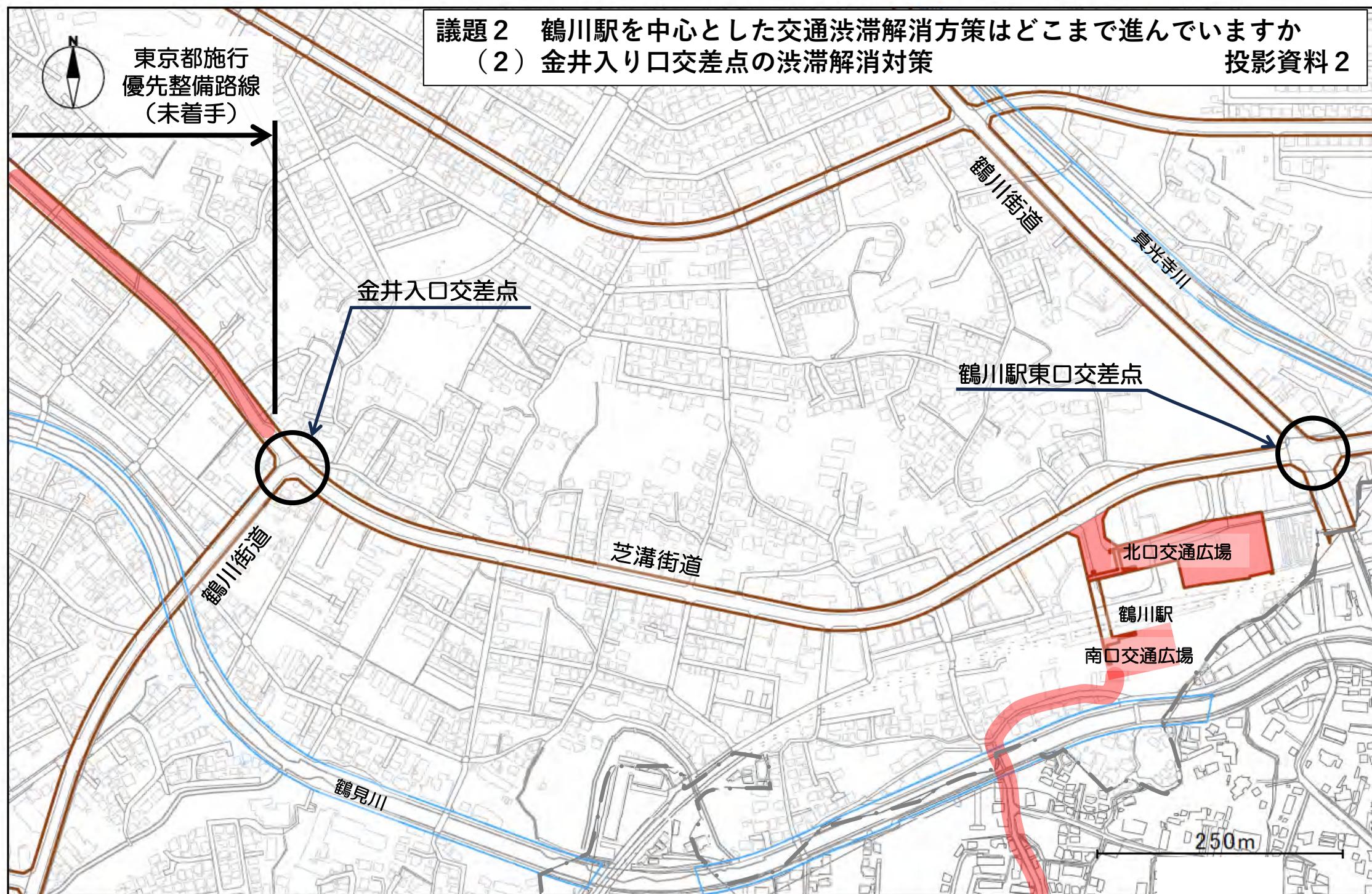
川崎市施行
上麻生Ⅱ期工区
(事業中)

神奈川県
川崎市

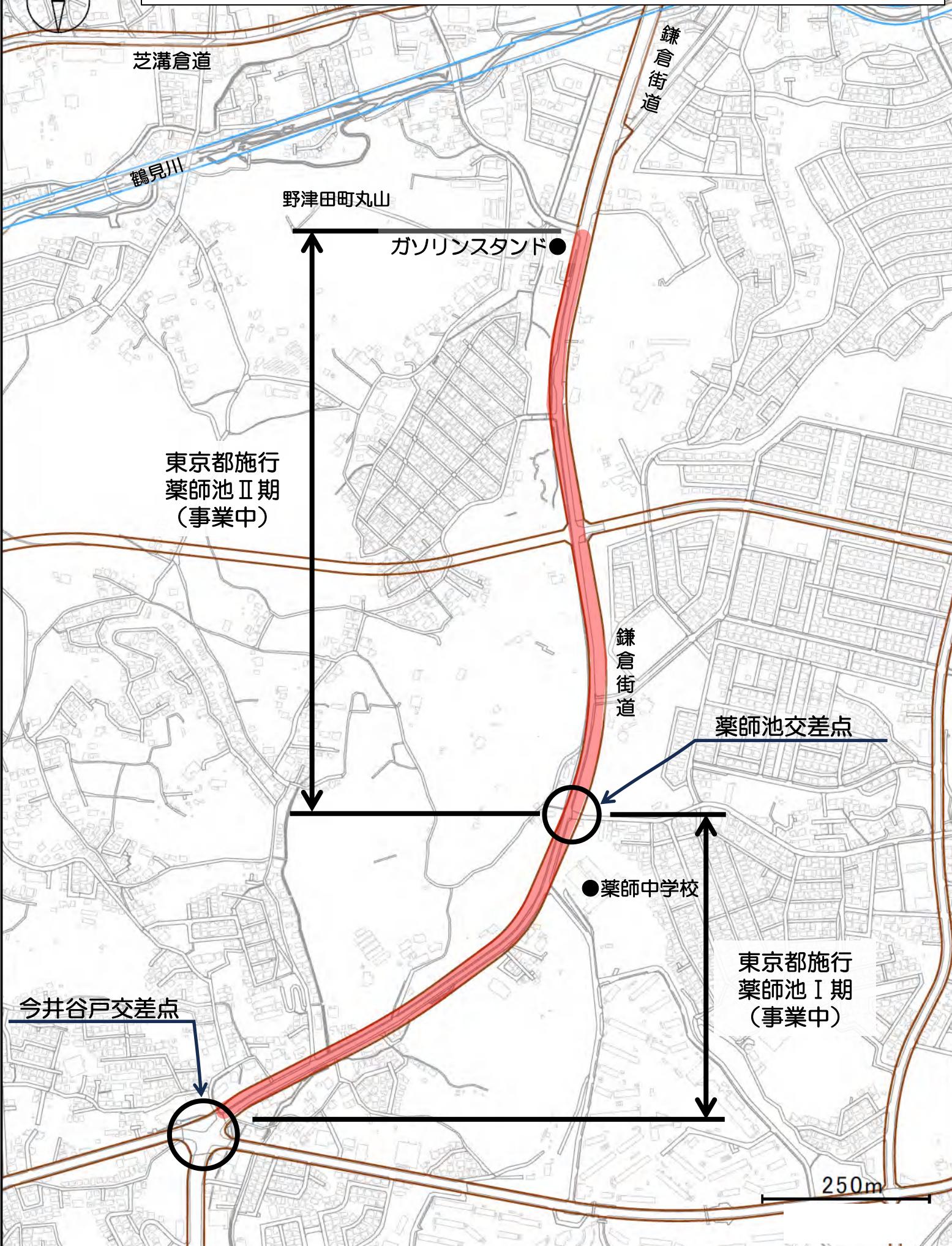
250m

議題2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか
(2) 金井入り口交差点の渋滞解消対策

投影資料2

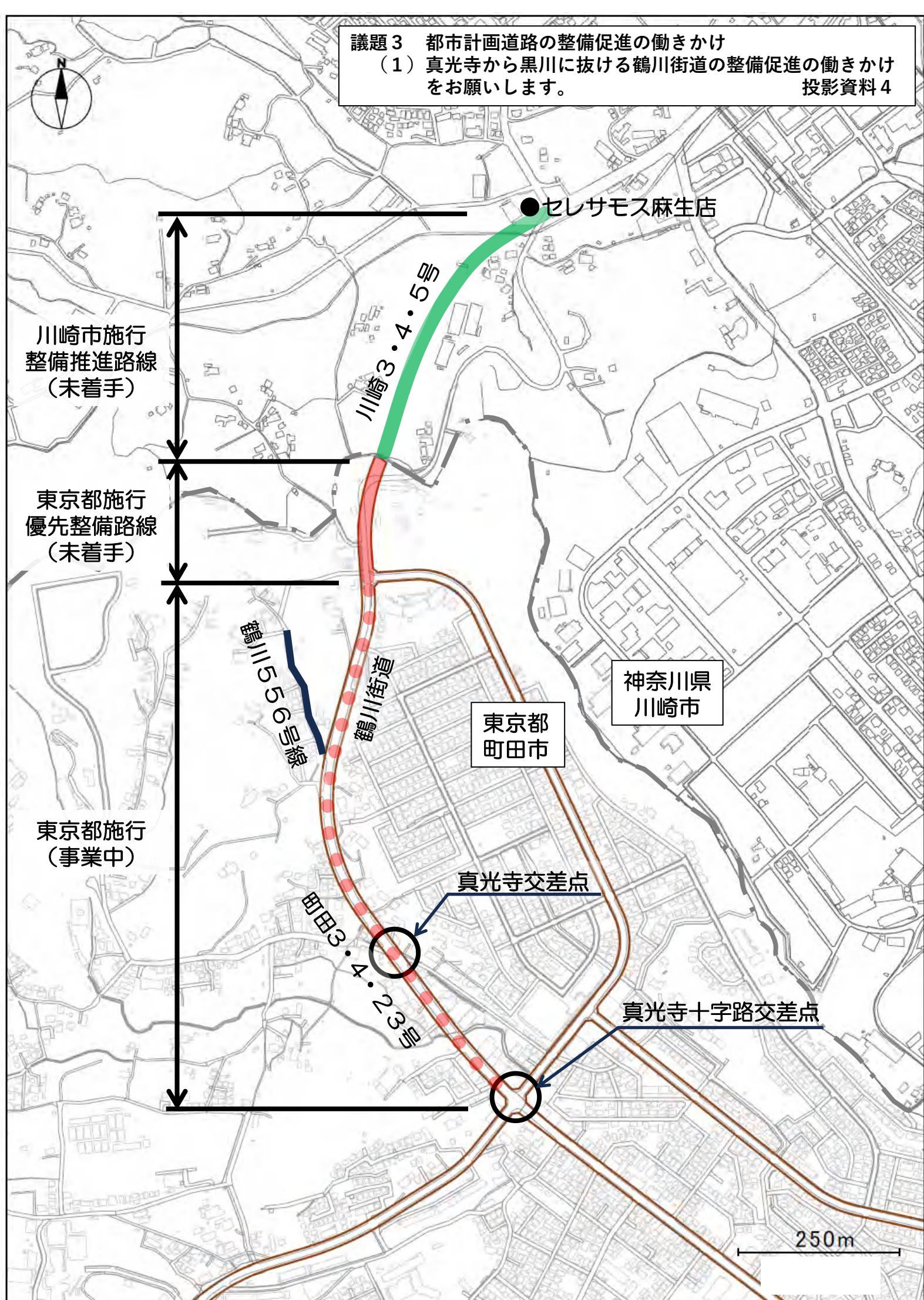


議題2 鶴川駅を中心とした交通渋滞解消方策はどこまで進んでいますか
(3) 鎌倉街道の整備促進と渋滞解消対策。野津田町丸山から今井谷戸までの計画と整備事業の見通しについて。
投影資料3

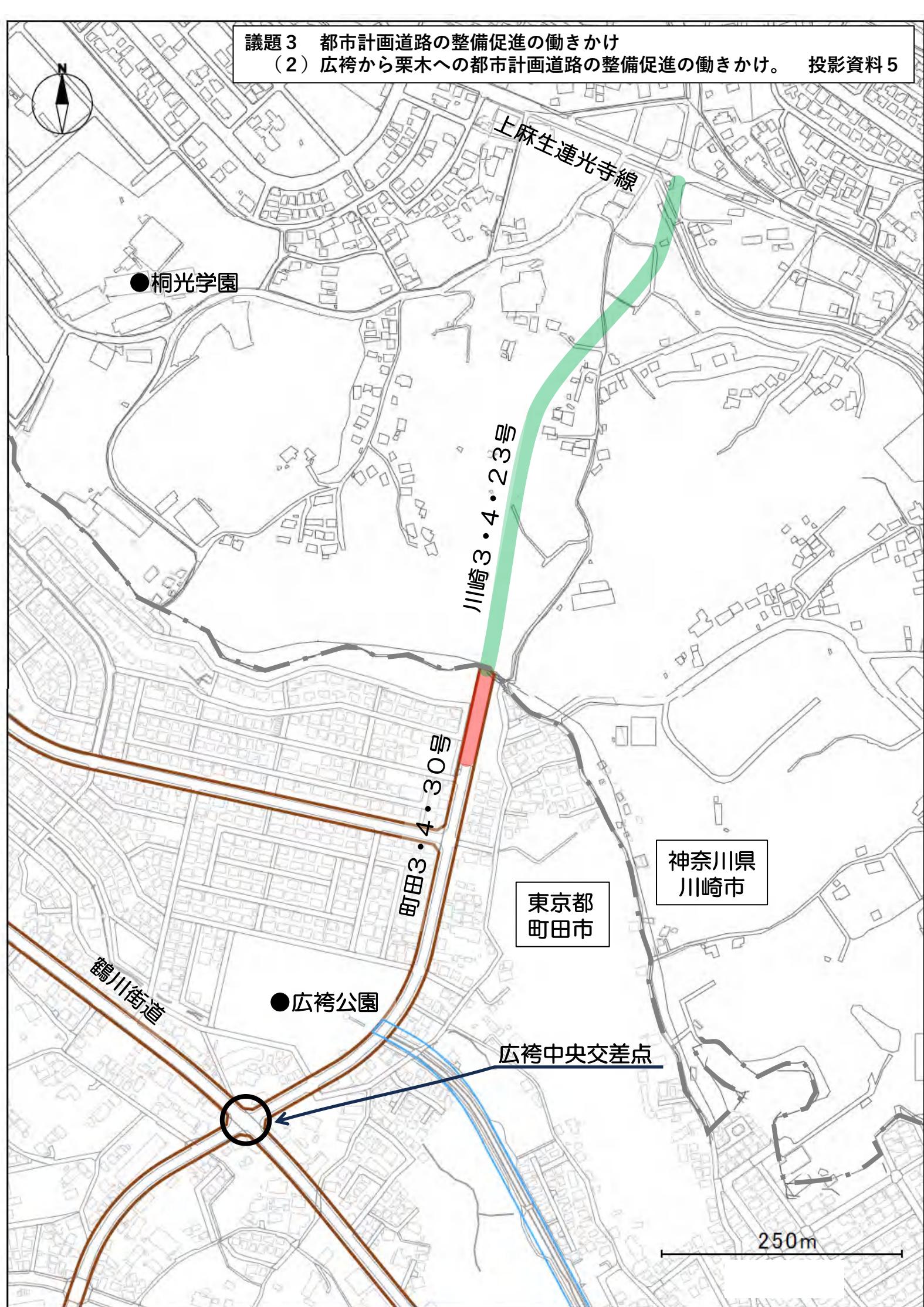


議題3 都市計画道路の整備促進の働きかけ
(1) 真光寺から黒川に抜ける鶴川街道の整備促進の働きかけ
をお願いします。

投影資料4



議題3 都市計画道路の整備促進の働きかけ
(2) 広袴から栗木への都市計画道路の整備促進の働きかけ。 投影資料5



議題3 都市計画道路の整備促進の働きかけ
(3) 鶴川四丁目交差点から大蔵井の花交差点（旧鶴川街道）の整備促進と
渋滞解消対策。
投影資料6

